

(令和7年度)
助成金交付申請に係るヒアリング書類

NO. 1

申請団体名： 守口南画研究会

代表者名： 守口 太郎

団体会員数	20名
年間活動回数	月1回程度
活動ごとの活動参加者数と活動内容	南画大作展:南画作品展示(200人程度)

※ 過去の活動内容が確認できる資料・写真等を添付して下さい。

今回の申請活動について

・助成金の申請理由と今回の助成金が交付されなかった場合、活動はどうされますか

申請理由:毎年、市民の方々が身近に芸術作品に接することができる機会の提供並びに現代南画の普及・啓発に資するため、「南画大作展」を開催しており、今年度は、子ども達に現代南画に親しんでもらうための小中学生を対象とした南画院大作展特別企画としてワークショップ「子ども水墨画教室」を新たに実施予定のため。交付されなかった場合は自己負担金にて実施予定。

・今回の申請は何回目ですか

初回

・過去の活動で助成金等を公的機関等(他市や府等)から受けておられますか

受けていません

※過去の活動で助成金等を受けている場合は、活動内容が詳しく記載された活動報告書や写真等のコピーを添付して下さい。

(令和7年度)

NO. 2

・活動の周知方法及び広報のあり方についてお聞きします

チラシ・ポスターの作成
SNSでの情報発信
町内会の回覧板や会議での周知 等

・前回の活動または、今までの活動と今回の活動の違いについてお聞きします

今年度は、例年の南画作品展示に加え、公益社団法人日本南画院 大阪支部の副理事長 守口 花子氏から、子ども達に現代南画に親しんでもらうための小中学生を対象としたワークショップへのご協力の申し出があったことから、南画大作展特別企画として「子ども水墨画教室」の実施を予定しております。

・参加料等の徴収(無料・有料等)理由についてお聞きします

参加料:無料

市民の方々が、より身近に芸術作品に接することができる機会を提供したいと考えているため

・今後の団体活動の方向性についてお聞きします

文化・芸術の振興のため、東京・京都・大阪で毎年開催される公益社団法人日本南画院主催「日本南画院展」で展示された作品の中から、代表作(新作)を借用し、「南画大作展」を開催しております。こうした活動を守口市内外の幅広い年代の方々に広く周知し、現代南画の普及・啓発に貢献してまいります。また、守口市のPRとなるよう努めていく次第です。